



「リニアの見える丘」整備構想(案)

笛吹市

「リニアの見える丘」整備構想

リニア中央新幹線は2027年の開業を目指しており、今秋には体験試乗が予定されております。

- 笛吹市には、フードの掛かっていないリニア実験線区間があり、走行中のリニアの姿をはっきり見ることができるのは、世界でも実験センターのある都留市と本市だけです。
- 市内のリニア眺望の最適地として、御坂町花鳥一本杉公園と八代町ふるさと公園、そして境川町坊ヶ峯があり、南アルプスや甲府盆地を背景にした絶好のビューポイントとなっています。これらを貴重な観光資源と捉え、リニアビューポイントとして展望台等を整備し、積極的に観光客の誘客を図っていきます。
- これらリニアビューポイントのある場所は丘陵地ですので、総称して「**リニアの見える丘**」と命名し、それぞれ、「**リニアの見える丘 花鳥展望台**」、「**リニアの見える丘 ふるさと公園展望台**」、「**リニアの見える丘 坊ヶ峯展望台**」として整備していきます。



リニアの見える丘





「リニアの見える丘 花鳥展望台」整備

今年9月補正予算で、花鳥展望台に「**第2展望台**」を新たに整備する調査費を計上しました。

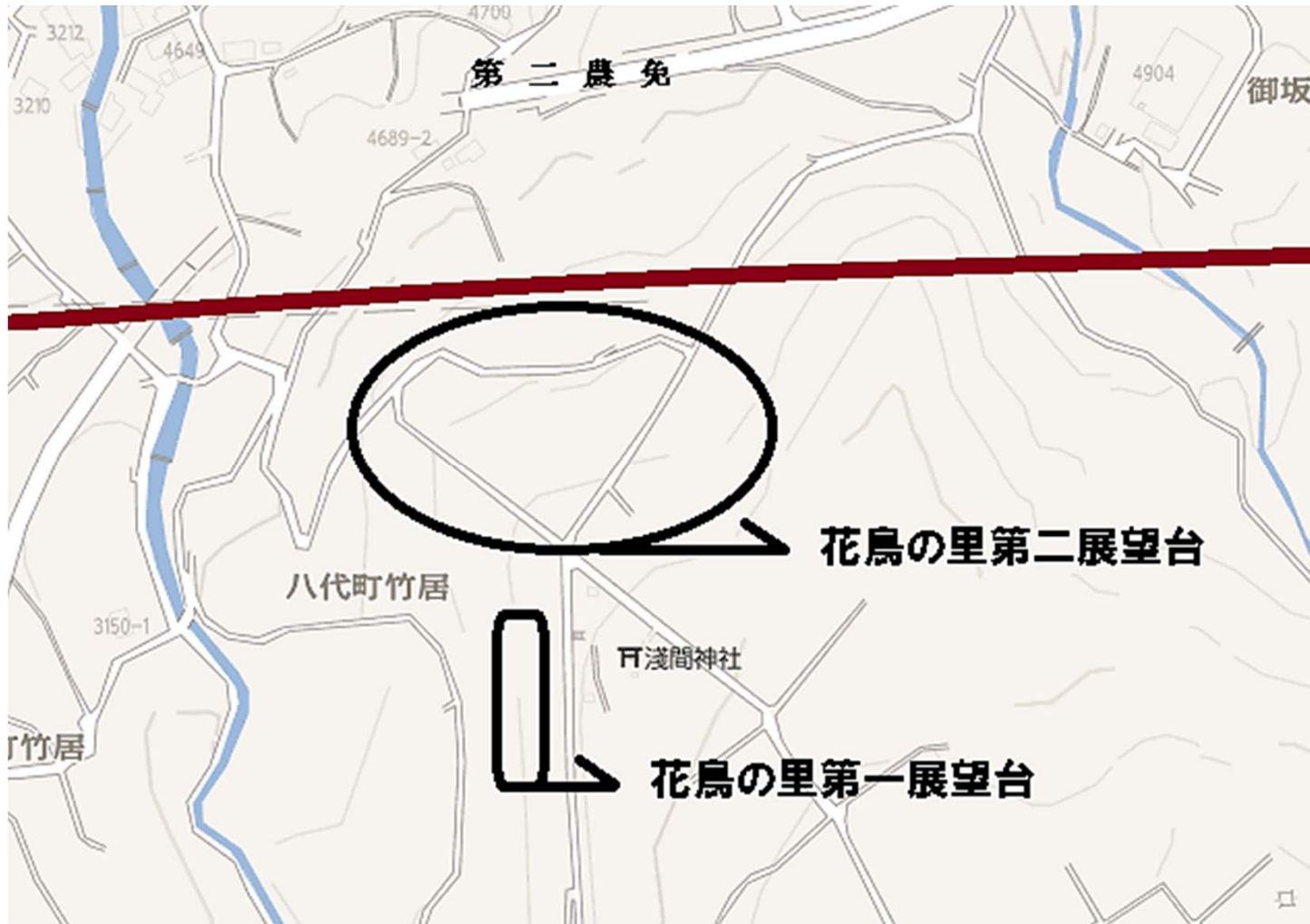
概要は、現状の高低差を生かした2段ないし3段造成で展望台を整備し、バス6台、普通車12台が駐車できるスペースを確保するとともに敷地内に障がい者用のトイレも整備する予定です。



新たに整備する
第2展望台付近から見る
リニアの眺望

既設の花鳥展望台(第1展望台)と 新設の第2展望台と駐車場の位置図

リニア実験線



南アルプスを背景に疾走するリニア(花鳥山第2展望台予定地付近)





「リニアの見える丘 ふるさと公園展望台」整備

今年9月補正予算に、ふるさと公園展望台に仮設の簡易型「展望台」を設置する予算と「階段式展望台」を整備するための調査費を計上しました。

簡易型展望台は既設の展望台の横に、高さ1m位の仮設台を設置します。今秋から体験試乗が始まり、リニアの走行する時刻が明確になり、観光客の増加が見込まれます。その対応として来春までの予定で設置します。

「階段式展望台」は、2階または3階立ての展望台を整備する予定で、現地の地質調査等を実施しながら検討していきます。



新たに設置する
階段式展望台
のイメージ



仮設展望台イメージ

仮設展望台
のイメージ





仮設展望台イメージ

リニアの見える丘 ふるさと公園展望台からのリニア眺望

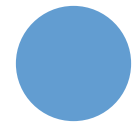




「リニアの見える丘 坊ヶ峯展望台」整備

坊ヶ峯展望台には、すでに展望台とトイレが設置してあります。10年後の営業線開通に併せて坊ヶ峯周辺の展望施設についても整備をする予定です。

リニアの新たな眺望が
期待できる
坊ヶ峯展望台からの
リニア眺望



リニア中央新幹線は、航空機並みのスピードと新幹線並みの輸送力をもった夢の超特急です。その疾走する雄姿をしっかりと確実に見ることができる場所が笛吹市にあります。開業前にもその恩恵に預かり、笛吹市の観光の目玉として大切に育て上げていきます。

開業後のリニア効果の恩恵を受けるには、今のうちからしっかりした計画を立案していかなければなりません。その第1歩として「リニアの見える丘」を整備し、国内外へ発信していきます。

事業費 約2億円

内訳 ①花鳥第2展望台整備 約1億7,000万円

- ・用地取得費
- ・造成工事費
- ・トイレ等設置費

9月補正予算【1,350万円】
不動産鑑定・事業認可委託・測量設計（駐車場用地、トイレ等）

②ふるさと公園展望台整備 約3,000万円

- ・階段式展望台

9月補正予算【300万円】
仮設展望台設置・階段式展望台設計委託

